

○充実した3日間 ～地域創造系2年 研修合宿1日目 in 大田市～



7月29日(月)～31日(水)まで、2泊3日の日程で地域創造系2年生12名が、世界遺産で有名な石見銀山のあある島根県大田市へ研修合宿に出かけました。

今回の合宿の目的は次の2点です。

- ①地域活性化の行政、住民の取り組みを現地調査、その発想・方法を学び故郷を見直す。
- ②大田市の教育の実践を学び、香美町におけるふるさと教育の教材開発につなげる。

視察の詳しい内容は、生徒が報告書をまとめてくれていますので、私は主な流れを写真等でお知らせします。

1日目は、4時間のバス移動の後、大田市役所にて大田市教育委員会森本総務課長、教育魅力化統括プロデューサー岡田さん、教育委員会石見銀山課遠藤課長から、大田市のまちづくりと教育の取り組みを説明していただきました。その後、社会教育課岩谷さんから大田市のふるさと教育の実践モデルを説明していただきました。そして、大田市内の名所である三瓶山を視察しました。



研修はこれだけではありません。夕食後、先ほど説明していただいた岡田さんと福本社会教育主事を宿舎にお招きして、大田市の教育やふるさと教育についてつっこんだ交流を行いました。



研修は午後9時過ぎまで続き本日の日程は終了、明日は現地調査になります。

○大森町視察 ～地域創造系2年 研修合宿2日目 in 大森町～

2日目がスタートしました。6時に生徒はロビー集合、宿舎周辺を散歩して体を起こします。運動部生徒は、ランニングをする生徒も見られます。散歩後、朝食までの時間を利用して、昨日のふりかえりと今日の視察について打ち合わせ、9時前には石見銀山のある大森町に入りました。



写真左上は、中村ブレイス株式会社での様子です。この会社は、義肢・装具・医療用具の製造販売を行っている会社です。何人かの従業員が、1ターン、Uターンで古民家を改造してこの大森町に住まっています。「よいものをつくっていれば、全国(世界)の人々に向け発信できる、自分の生まれ育った地から発信したい」という先代の思いを引き継がれています。全世界のお客様から感謝の手紙が届く会社です。銀山の町らしく会社の車はすべてシルバーでした。



写真左中は、アットゴー、ウェブデザインの会社です。地元出身の奥様が社長で東京に、ご主人は石見銀山サテライトスタジオにてひとりで仕事をされています。月に何度かは、こちらに来られるとか。静がでおだやかなこの地で、落ち着いて仕事ができるそうです。パソコンとインターネットがあれば仕事ができる。新しい仕事の形です。



株式会社石見銀山生活観光研究所は、外観は古い街並みに合うように、中は最新の機械が並びます。この会社は、「復古創新」を合言葉に、古きを活かし、時代に合った進化を続けて、「衣・食・住・美」この地でしかできないものづくり・ことづくりに取り組まれています。

また、奥様が立ちあげられた「どんぐりくらぶ」(子育て支援のサークル)により、安心して子育てできる大森町で生活したいという人が増えました。これらの会社が、人口400人の町に新しい地域の輪をつくっていることを現地町で知りました。